

そのままでは籠が浮きあがってしまうので、籠の上にも棒を渡し、地面に密着するように押さえつけます。

一年目は倒伏が出ず大成功。でも、二年目の去年は効果が薄くなってしまいました。「炭の

福島から

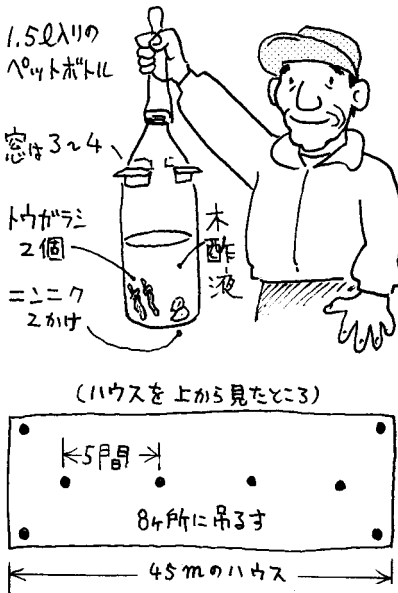
## 絶対にアブラムシが来ない！ 木酢液の使い方

鷹巣達也

最近農家で木酢を知らない人はいないくらいになりましたが、使い方は人それぞれです。田村郡大越町のおおしえちようの吉田安昭さんに、ハウスに絶対にアブラムシが来ない！という方法を聞きました。

図のようにペットボトルに穴をあけ、中にニンニク二かけとトウガラシ二個、そして木酢を半分ほど入れておきます。ハウスの四隅と真中の列に五間隔隔で吊るします。あとは中身が減

浄化効果を回復させるために、冬の間に引き上げて真水で洗って乾かしておけばよかったんだけど……」という木村さん。今年は新しい炭を焼いて、春に備えるつもりです。



っていくのに応じて、月二回くらい、木酢ニンニク、トウガラシを補充します。



# こちらの話



## 種袋で作る 家庭菜園の小人たち

細川恭子

家庭菜園やプランターに何を植えたのか忘れないように、種袋を土に差ししておくこと、よくありますよね。それにひと手間かけて、家庭菜園を可愛らしく彩るニンニク人形をつくりませんか？綾町でハーブや石鹸を手作りしている松尾正恵さんに、作り方を教えてもらいました。何個も作って家庭菜園に差すと、まるで小人の国のよう。近所の人にも「可愛い！」と言われること請け合いです。

宮崎から

「これをやっておけば、ハウレンソウにもトマトにもアブラムシは絶対来ない。それははっきりわかる。一年中大丈夫。ほかの虫もかなり減ったようだ」とのこと。

最近大越町では木酢が静かなブーム。ドラム



缶で自分で木酢を作る人も、何人も出てくるようになりました。そこで、自分の炭焼き窯を持っている吉田さんは「窯は使つほど長持ちする」からと、近所の人に無料で窯を貸してあげているそうです。